

赤十字NOW

千葉 | April 2014 Vol. 27

発行所 / 日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812

東北の被災地域に思いをはせ、夢ビルダーカードでオブジェ創作 船橋市立葛飾小学校



復興に取り組む東北地域の子ども達に、「夢と元気」を届けようと結成された教育支援チーム「夢つくり隊」。

日本赤十字社千葉県支部と千葉県立美術館の異業種コラボで、2012年8月の釜石市をスタートに、2013年は福島県内へ美術教室を遠距離出前すること延べ4回。

創作活動によって、復興と向き合う子ども達の「こころの健康維持」に取り組む活動は、行く先々で、子ども達の笑顔と自信溢れる作品を創り出しました。

震災から3年が経過する2014年。同じ被災県の千葉県内の子ども達を対象に、夢つくり隊千葉県プロジェクトが始動しました。

「夢つくり隊」は、千葉県内の子ども達に、東北の被災地域で復興に取り組む同世代の子ども達の「いま」を伝え、震災復興に関心を持ち続けることを願っています。
(2面に特集記事)

「僕たちは震災を忘れない」
子ども達が出来る復興支援
〜夢つくり隊千葉県プロジェクト始動〜



GOOD DESIGN
AWARD 2013



KIDS
DESIGN
AWARD
2013

CONTENTS April.2014 vol.27

2

震災から3年 「僕たちは震災を忘れない」
夢つくり隊千葉県プロジェクト始動

3

特性を生かして災害に備える赤十字奉仕団
災害包装食の抜き出し / 子ども達のこころの健康維持
65周年の歴史を胸に、新たな人道ニーズに取り組みます
千葉県赤十字奉仕団創設65周年記念大会開催

4

そこに、救いたい命がある
フィリピン中部台風災害救援活動
献血参加を応援する献血女子会
SWEETS クッキング!!

5

人道的事業・活動推進のために
ご支援のお願い

6

お知らせ
新たなご支援のかたち 遺贈をご存じですか
予約受付中の赤十字新商品!
水に浮くクロスリック登場

「想像できないつらい体験でしょうが、僕たちは忘れません。」 たくさんの応援の言葉を聞く、夢づくり隊千葉県プロジェクト始動



避難所で「こころのケア」に取り組んだ日赤職員の話
それぞれの感想を胸に静かに耳を傾けます

震災から3年が経過する2014年。夢づくり隊は、東北地域での活動経験や、復興に向き合う地域の子どもの様子、その地域の人々の「忘れないで」というメッセージを千葉県内に伝えるため、新たに千葉県プロジェクトを始めました。

平成26年1月23日(木)、船橋市立葛飾小学校で初めてプロジェクトが行われました。

東北地域の子供たちが歓喜した「夢ビルダーカードオブジェ」創作を思い切り体験した後、写真スライドを使いながら震災直後から被災地の今、そして同世代の子供たちが復興に向き合う様子を伝える授業を行います。

体育館が避難所になった写真、ダンボール箱の机で子どもが勉強する姿、3月11日(金)の日付が書かれたままの黒板などの写真に、子ども達の目は吸い込まれました。

県立美術館学芸員の東健一さんは、子ども達に語りかけます。「夢づくり隊が訪問した4地域からは、被災状況は異なっても共通の言葉を聞きました。その言葉は「忘れないで」。そして震災を忘れないことは、小学生の皆さんが出来ることです。」

「東北の人たちの思いを知った。僕たちは忘れない。」「大きくなったら東北にボランティアに行く。」など、子ども達はたくさんの感想を届けます。

今後、夢づくり隊は千葉県プロジェクトの推進を通じて、復興支援の世論形成と、震災風化防止に取り組む活動を継続してまいります。



協賛による
千葉ロッテマリーンズ版
カードも登場



クラスで巨大船作りに挑戦 40分で大作完成

夢づくり隊千葉県プロジェクトのご希望・照会は

千葉県立美術館普及課 Tel043-242-8311
日本赤十字社千葉県支部
広報戦略係 Tel043-241-7531

トピックス

日本赤十字社初のW受賞
2013年 GOOD DESIGN賞、2013年 KIDS DESIGN賞

夢づくり隊プロジェクトは、子ども達の明るい未来に貢献し、復興に取り組む地域との優れたコミュニケーション活動で、形のない復興支援デザインと評価されました。



<http://www.g-mark.org/>



<http://www.kidsdesignaward.jp/2013/>

このグループは
家作りに挑戦!



赤十字地域奉仕団

千葉県内の各市町村に組

織され、団員数は約12,000人のメン

バーを擁するボランティア組織です。

メンバーの皆さんは、地域密着の奉仕活動に取り組みとともに、災害時には「食」の提供に大きな力を発揮します。

「災害救護用包装食」と呼ばれる、ポリプロピレン製の特殊な袋を使用し、白米を炊き出すことが出来ます。この包装食は、お一人おひとりの個装が可能のため、例えばお粥や好みの味付けが可能になる強みがあります。

赤十字地域奉仕団では、各市町村が実施する防災訓練などに積極的に参加しながら、災害対応能力の向上を図っています。

現在、各市町村の赤十字窓口には、約110基の災害救護用移動炊飯釜が整備され、万一の災害に備えています。



炊飯釜の使い方を研修する奉仕団メンバー

1回に100人分が炊き上がります



一口サイズに絞り出せます

特性を生かして 災害に備える赤十字奉仕団

災害包装食の炊き出し、 子ども達のこころの 健康維持活動

青少年赤十字賛助奉仕団

日本赤十字社では、学校教育の中に赤十字活動を採り入れていただき、人道的価値観を身につけ、思いやりのある児童・生徒の育成に取り組む、青少年赤十字活動を推進しています。

賛助奉仕団は、青少年赤十字採用校の校長・教頭・教諭のOBで構成され、学校教育経験のノウハウを生かした活動に取り組んでいます。

万一の災害の際は、子ども達との向き合い方を熟知した団員が、避難所での「絵本読み聞かせ」を行いながら、子ども達の「こころの健康」を守る活動に取り組む計画です。



千葉市中央図書館職員を講師に研修



絵本の持ち方、読み方も実習します

65周年の歴史を胸に、新たな人道ニーズに取り組みます ～千葉県赤十字奉仕団創設65周年記念大会開催～

日本赤十字社千葉県支部、千葉県赤十字奉仕団は、平成25年11月4日(月)、千葉県文化会館を会場に、団員関係者1,646人の参加のもと、千葉県赤十字奉仕団創設65周年記念大会を開催しました。

赤十字奉仕団は、先の大戦後の混乱期、日本赤十字社組織基盤を再編する過程で、アメリカ赤十字社の全面的な支援によって誕生しました。

当千葉県においては、昭和23年、県内初の赤十字奉仕団が誕生したことをスタートに現在まで、災害救護、献血推進、医療など、日本赤十字社が行う様々な人道事業の担い手となって支えてきました。

同奉仕団創設65周年を記念した大会では、これまでの奉仕団活動の推進者(先人)のご労苦に感謝するとともに、事業推進に貢献した2,409人団員各位へ感謝状等が贈られました。

東日本大震災の災害救護に関する教訓と、大規模災害時の新たなニーズに向き合い、人道事業推進への誓いを新たにする機会といたしました。



奉仕活動のご功勞に贈られた感謝状



人道の灯火を手に厳かな開会

そこに、救いたい命が、ある

千葉県支部職員が保健医療チーム管理要員としてフィリピンに派遣

2013年11月8日にフィリピン共和国中部を直撃した台風30号(英語名: Haiyan) は、死者6,201人、行方不明者1,785人、負傷者28,626人、約1,608万人の方々が被災するとともに、損壊家屋は約114万棟という深刻な被害をもたらしました。

日本赤十字社は発災直後から、保健医療チームを派遣し、保健医療分野のニーズが高かったセブ島北部において支援を行ってきました。

保健医療チームは、セブ島北部にあるダンバンタヤン郡(人口8万6千人)で被災した、医療機関の機能を補完するために救済活動を行いました。同郡のマヤ村で仮設診療所を設置したほか、郡内の20村全てを対象に、巡回診療を実施しました。同チームによる診療活動は2月4日に終了しましたが、活動期間中、延べ4,000人を超える方々に対して診療を行うなど、人道的なミッションに取り組みました。

保健医療チーム第3班(任務期間2014年1月8日~2月12日)には、当支部ベティート・タク係長が管理要員として参加し、緊急救援から復興支援へと変化する段階での円滑な医療チーム撤退、地元フィリピン赤十字社や同共和国政府に活動を引き継ぐ、連絡調整のミッションに従事してきました。

日本赤十字社本社での国際救援管理業務をはじめ、2004年イラン大地震、2009年ジンバブエでのコレラ緊急救援の管理要員という多くの海外救援経験をもち、ベティート係長は、今回のミッションを振り返ります。

「フィリピン赤十字社や政府のスタッフの献身的な活動と協働出来ました。私たちのチームは、損壊した地元診療所の再建工事にも取り組むなど、活動は多岐にわたりましたが、被災された方々も共助の意識が高く、日赤の活動に信頼を寄せ、保健医療活動が円滑に進みました。赤十字にご支援をいただいた方々の想いを胸に、全力でミッションに取り組みました。」

引き続き、千葉県支部では、皆さまのご支援のもと、国際救援活動に積極的に参加するために、人材の育成に努めてまいります。



命を救う診療活動



工事の進行管理を行うベティート係長



活動の合間は子ども達との触れ合い



チームメンバーも驚いた大歓迎
子ども達の手には「赤十字」

event report

女性の貧血予防は女性が好きな SWEETS で 献血参加を応援する献血女子会 SWEETSクッキング!!

献血にチャレンジするのに低ヘモグロビンで献血ができない—

こうした女性が多いことから、千葉県支部は平成26年1月20日、女性だけで構成される千葉ゆうきのライオンズクラブと、貧血を予防し、女子の献血チャレンジを応援する、女子限定のお菓子作り教室「献血女子会 SWEETSクッキング!!」を、ホテルポートプラザちば(千葉市)で開催しました。

ホテルのパティシエ 高橋健治さんが考案した、献血風チョコレートケーキには、鉄分豊富な「ひじき」や「ごぼう」「プラム」など、SWEETSには縁遠い食材が使用され、参加した43人の女子の皆さんがお菓子作りに挑戦。

「SWEETSで貧血予防とは考えてもみませんでした。食材を工夫すれば出来るのですね。お菓子好きとしては大歓迎です。」と感想を寄せました。サプライズ登場した、千葉ロッテマリーンズの内竜也投手は、女子に囲まれ思わず SWEETSを試食。温製きな粉の献血風カスタードクリームピーナッツ入り手巻きクレープは、内投手の好みに合い大好評。

健康トークショーに臨んだ内投手は、「怪我を機に、自分で精米したお米で体調管理に気をつけています。」と、独身のプロ野球選手として心掛けていることを紹介しました。

当支部では、成田赤十字病院、千葉県赤十字血液センターとともに、地元プロ球団、ライオンズクラブとの絶妙なコラボで、身近な人命救助、献血の推進を図ってまいります。



パティシエのプロの技術に目は釘付け



優しく滑らかに混ぜて



はい あーん! 女子に囲まれ照れながら試食する内投手



高橋パティシエとSWEETSで健康トーク

人道的事業・活動推進のために ご支援のお願い

日本赤十字社が行う様々な事業・活動は、「人道」という赤十字の理念に共感した皆さまに、財政面でも支えていただいています。近い将来発生が懸念される首都直下地震、東海地震、東南海地震、南海地震に対する災害救護体制の充実・強化など、人道の実現に向け、千葉県支部は、職員・関係者が一丸となって事業・活動の推進に努めてまいります。平成26年度に取り組む事業・活動へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

事業・活動費の総額と内訳(平成26年度予算)

災害救護体制の充実・強化 **183,959千円**

◇広域大規模災害に備える迅速な救護活動を

- 救護資機材の整備費
- 救急医療用機器の整備
- 救護看護師の養成費(奨学金など)
- 災害救護訓練に要する経費
- 災害による被災者への見舞金
- 企画・実務を担う職員の給与等



国際活動の充実

6,320千円

◇世界の赤十字と連携して苦しんでいる人を救う

- カンボジア義肢センター支援事業
- ネパール、バングラデシュ
- 青少年教育等支援
- 国際救援要員研修等の経費



健康・安全のための知識と技術の普及

37,768千円

◇助かる命を救うため県民にできる救命・応急手当の講習

- 講習用資機材の整備費
- 講習会開催の経費(指導員旅費ほか)
- 救急法等を広く普及するためのイベント開催経費
- 臨時救護等経費
- 企画・調整・実務を担う職員の給与等



赤十字奉仕団による活動

30,074千円

◇赤十字のボランティア活動をより力強く

- 研修会開催の経費
- 会議運営の経費
- 奉仕団活動への助成
- 連絡・実務を担う職員の給与等



義肢製作所の運営

54,788千円

◇障がいのある人々の生活の向上を

- 補装具製作材料費
- 運営諸経費
- 製作実務を担う職員の給与等



青少年赤十字の活動

30,745千円

◇“気づき、考え、実行する”子どもを育む

- 児童・生徒対象のリーダーシップ養成研修会運営費
- 国際交流派遣の経費
- 教職員等対象の会議、研修開催の経費
- 青少年赤十字指導者協議会活動への助成
- 指導用資材作成費
- 連絡・実務を担う職員の給与等



赤十字精神と社旨の普及 **113,409千円**

◇“人道”の精神を広げ根づかせる

- 赤十字思想普及に係る広報啓発、イベント経費
- 活動資金の募集に係る経費
- 企画・実務を担う職員の給与等

地域における赤十字活動

77,600千円

◇身近で役立つ赤十字を地区分区(市町村)の活動に

- 地区・分区への交付金
- 調整・実務を担う職員の給与等

全国的な赤十字事業活動に

83,250千円

- 日本赤十字社本社が実施する全国的事業・活動費

管理業務に

79,127千円

- 外部監査費等
- 監督及び庶務実務を担う職員の給与等
- 会館保守管理、予備費

各事業共通管理運営に

69,107千円

- 備品消耗品費、光熱水費、通信運搬費等
- 損害保険料、諸税等
- 職員研修・福利厚生費等

事業・活動費 **766,147千円**

雑収入等
(補装具製作収入ほか)
136,147千円

協力をお願いする資金
630,000千円

一般会計

歳入 766,147千円
歳出 766,147千円
差引額 0千円

～あなたの思いを赤十字に～ 新たなご支援のかたち 遺贈をご存じですか

日本赤十字社では、個人や法人・団体の皆様からお寄せいただく事業資金によって、国の内外で人々のいのちと健康・尊厳を守るために必要とされる、人道的な事業・活動を展開させていただいています。近年は、「自分で築いた財産の一部を寄付したい」というご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産は赤十字を通じて活かしたい」、「ご香典のお返しを赤十字に寄付できないか」という尊いお申し出が増えていきます。

ご相談いただく方々の事情は様々ですが、ご自分や故人の思いを社会のために役立てたいと、お申し出いただく方々へのご説明用として、日本赤十字社千葉県支部では、パンフレット「あなたの思いを赤十字に」(遺産の寄付をお考えのみなさまへ)を作成いたしました。

「あなたの思いを赤十字に」(遺産の寄付をお考えのみなさまへ) A4判 16ページ

パンフレットのあらまし

- 赤十字活動とご寄付の使途
- 赤十字へのご寄付に対する
税制上の優遇措置(相続税ほか)
- 遺言書の種類のご紹介
- 遺言作成に携わる専門機関・専門家 ほか



お知らせ

予約受付中の赤十字新商品!

水に浮く! クロスリュック

(2014年4月下旬入荷予定)



ご自分の身を守るだけでなく、要救助者に投げ入れるだけでも人命救助の補助につながるバッグです。リュックの中の荷物が空の状態、約80kgの方が浮きます。

緊急時、即座に持ちだしできるよう、赤十字マークをプリントした「クロスリュック」。内容品は、緊急時に必要な物を厳選しセットしました。

さらに飲料や食料などを入れていただくスペースは多少ありますので、ご自身の環境に合わせた物をセットし、いざという時のために備えてください。リュックのみの販売もいたしておりますので、様々な場面でご利用いただけます。

価格 7,500円 (8%消費税込・送料別)

■サイズ H41cm×W30cm×D13cm

■材質 高密度ポリエステル

■カラー オレンジ

■付属品 カラビナ、ホイッスル、名札ケース、防災ずきん

■内容品

ライト(手回し発電式)、軍手、簡易寝袋、レインコート、
さらし、巾着袋、携帯トイレ(1回分)、マスク(大3枚・小2枚)
タオル、あんしんカード(個人情報を記載)、
非常持ち出し品チェックリスト

個人情報が記載できるクリアホルダー付き

ご購入を希望される方は、直接(株)日赤サービスまでお申込みください。
(ご照会・ご注文は) (株)日赤サービス Tel 03-3437-7514 (商品担当)

<http://www.nisseki-service.com/>

または

日赤サービス

検索

